

# 県の「防災小説コンテスト」で**最優秀賞** 受賞！！

3月6日付の宮崎日日新聞に掲載されました。  
 「防災小説コンテスト」で県内高校生応募523点の中から、情報技術科1年の中谷 一路さんが見事、**最優秀賞**に輝きました！  
 小説は啓発掲示のほか、今後映像化される予定だそうです。

南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、若い世代の防災に対する意識を高めようと県が本年度、県内の高校生を対象に初めて募集した「防災小説コンテスト」で最優秀賞に輝いた。学校の課題として取り組み、小説を書いたのは初めて。「自分が選ばれるとは」と驚きを隠さない。

受賞作は、宮崎市・佐土原高までバスで通学する主人公が、下校

県の「防災小説コンテスト」最優秀賞に選ばれた佐土原高1年

と なか たに いち 路さん

INTERVIEW



中のバス車内で地震に遭う設定。通信環境が悪く家族と連絡が取れず焦る中、SNS上の自分のアイコンを、無事伝える文字に替え、事なきを得る物語に仕上げた。臨場感に

「高校生ならではの視点で被災時に取るべき行動が示されたい」と高評価を得た。これまで、巨大地震の発生を自分事として考えたことはなかった。家族も友達もいない状況

況で被災したらどうするか。5歳離れた姉の助言も参考に、苦戦しながら800字程度にまとめた。小説は啓発のために県防災庁舎に掲示されるほか、県のホームページ上で公開される予定。来年度には映像化される見通しで、「後輩たちがアルに地震を感じる参加になれば」と話す。受賞を聞いた姉は「さすが自慢の弟やね」と、めちやくちや

喜んでくれた」と照れるか。賞品の図書券3万円は「経営や投資など、将来に役立ちそうに本を買おうつもり」。ただ、最近ハマっているサッカー漫画にも「ちょっとだけ使いたい」と明かす。

同高の情報技術科1年。コンピューターのプログラムを学びながら、所属する情報技術部ではホームページや動画の制作に励む。16歳。 (川原智美)

宮崎日日新聞  
 3月6日(月)付  
 ◀ 掲載記事 ▶

## 中谷さん(佐土原高1年) 最優秀 県防災小説コン表彰式

宮崎市



若い世代の防災力を高めるため、県が本年度創設した「防災小説コンテスト」の表彰式は5日、宮崎市のイオンモール宮崎であった。同市の佐土原高1年中

谷一路さん(16)が最優秀賞に輝いた。(2面に中谷一路さんの「ひと」)

同コンテストは日向灘沖を震源とするマグニチュード(M)9.0の地震が発

本年度創設された「防災小説コンテスト」の表彰式は5日午後、宮崎市・イオンモール宮崎

生した設定で作品を募集し、県内の高校生から523点の応募があった。最優秀賞「絶望の中のクリスマス」は災害発生時のSNSの活用や被災直後の心情などをうまくちりばめ、評価された。

表彰式では河野知事から賞状を手渡され、中谷さんは「いつ地震が起きてもいいよう、心を強くしていきたい」と話した。

中谷さんの作品は来年度制作する防災啓発動画の原案として採用される予定。このほかの入賞者は次の通り(敬称略)。

【優秀賞】酒井歩羽花(富島1年 東野結斗(高鍋1年) (草野航)